

中島



2002 歯の祭典開催 第26回 熊本市歯科医師会親睦ビアパーティ



目

次

巻頭言	矢毛石 豊 常務理事	1
2002歯の祭典		2
良い歯のピエロショー		5
平成14年度熊本市社保点数改正説明会		6
第26回熊本市歯科医師会親睦会 -ビアパーティー-		8
歯磨き巡回指導レポート		10
学校保健会総会		12
スタッフレベルアップセミナー		13
第43回日本歯科医療管理学会レポート		14
平成14年度三歯会		16
国立熊本病院との協議会		17
Study		18
「矯正におけるカウンセリングの重要性」	山本 資晴	
学校歯科医レポート		22
..... 城東小学校 すこやかサミット 報告		
新人です よろしくお願ひします		24
スポーツの広場		25
会務報告		26
編集後記		

一表紙のことば一

町内夏祭りにて

私の住む地区は地域交流が盛んで氏神さまの祭りにあわせて町内夏祭りが行われます。全て手作り、地元子供会や住民による踊り、バナナの叩き売りで大いにもりあがります。

皆さんの地域はどうですか？

(T・F)

巻 頭 言

「定款見直しを終えて」



矢毛石 豊 常務理事

8月第2回目の定款見直し委員会の検討がほぼ終了し、また主務官庁の承認を得、現在委員会の先生方による校正を行っております。

2年前第1回定款見直しが終わった時点で、巻頭言に、「歯科医師会の根底である定款・諸規則の重要性がおぼろげに見えた様な気が致します」と書いておりますが、その後再び2年間定款見直し委員会に携わらせていただいたおかげで、会及び会員の皆様に非常に失礼なことを言ったと深く反省致しております。定款の重要性がおぼろげに見えるうちはまだ、会の根底をなす一番重要な定款の見直しの期間であり、自分の勉強不足を痛感致しました。

今回は4年～6年定款について勉強し、熟知された委員の先生方のおかげをもちまして、熊本市歯科医師会会員、及び社団法人歯科医師会が地域歯科医療の完遂、公益のため万全を期する事が出来る定款が出来あがったと確信致しております。

先日ニュースで1月から7月までの医療機関の倒産が17件と発表されており、特に中小の医療機関の経営が非常に厳しいとの事でした。私はこのニュースを入院中の病院で聞いたのですが、現実問題としてこの厳しい状況のなかで病院を休診にするとする事は死活問題であり、また長期の入院となれば倒産を覚悟しなければならないのが現状だと言えます。

しかし今回私が非常に感謝したのは、歯科医師会の事業で行っております、急病時代診派遣制度や、他の休業保障、入院保険等のおかげで診療所を閉めることなく、また経済的な面でも心配せずに入院療養できた事です。

熊本市歯科医師会、及び熊本県歯科医師会では会員の為、救済制度や、保障制度、保険制度等がありますが、本来このような制度には生涯御世話にならないのが一番いいのですが、いざ自分が診療を休診せざるをえない状況におこまれた時、この制度の本当の有り難さを痛感される事と思います。

本会としても、全会員の為に何が有益かを今後さらに考えていく所存です。

2002歯の祭典

(母と子のよい歯のコンクール表彰式)

6月9日(日) 歯の衛生週間の1つである「2002歯の祭典」が上通りアーケードで開催されました。

このイベントは熊本市民皆様の歯と歯ぐきの健康を守ることにより、大切な歯の寿命を延ばし、それによって市民の皆様の健康保持増進に貢献することを目的としています。

熊本市歯科医師会が主催となり、後援として、熊本市、熊本市歯科技工士会、熊本県歯科衛生士会、熊本日日新聞社、他放送関係7社、また協賛として熊本県歯科用品商組合、花王(株)、モリタ、そして上通り商栄会の協力がありました。本年度は上通りに目新しいビルなどができ、若い人へのアピールが期待されました。

午前10時より、母と子のよい歯のコンクール表彰式が開催されました。今年は熊本市管轄の各保健福祉センターで、3才児健診をもとに50組を予備審査し、10組が表彰されました。



母と子のよい歯のコンクール表彰式にて



2002歯の祭典テープカット

上通り
アーケード

歯のなんでも
相談



竹迫みのり保育園鼓笛隊の演奏



—白い歯はあなたの笑顔を輝かす—

優秀賞には、古澤美穂さん、怜那ちゃん親子と梶原由里さん、里奈ちゃん親子の2組が選ばれました。午前10時半より「竹迫みのり保育園」によるかわいい鼓笛隊演奏がありました。午前11時より関市歯会長の主催者挨拶により開会式が始まりました。来賓として三角保之熊本市長(代理:田中亮子・熊本市健康福祉局局长)、熊本市議会より議長白石正氏、同じく議員江藤正行氏、荒木哲美氏、下川寛氏が紹介されました。

三角市長、白石議長の来賓挨拶の後、関会長、衛生士会熊本市支部長植由紀子氏、熊本市歯科技工士会会長上村敬三氏、来賓の方々の8名によるテープカットが行われ、「2002歯の祭典」がスタートしました。今年は禁煙コーナーと在宅訪問歯科コーナーが増設され幅広く9つのコーナーに分かれ、それぞれに一生懸命対応していました。

今年新設された禁煙コーナーは意外と人が集らず、気にしながらも通りすぎる人が見うけられました。今年も“かわら版”で募集した先生方にご協力いただきありがとうございました。

当日アンケートに答えていただいた人数は3,383名でした。

(公衆衛生 杉野弘武)



口臭検知器

禁煙教室

小児歯科

矯正相談



たくさんの市民の方々が相談をうけていました



在宅ケアの相談も多かった



アンケートも
たくさん
集まりました

アンケート



今年も石膏人形人気でした

専門学校

在宅訪問

技工士会

フラッシング



位相差顕微鏡も稼働率高かった



2002年歯の衛生週間事業

「良い歯のピエロショー」



6月8日(土)「よい歯のピエロショー」が熊本市、熊本市歯科医師会の主催により熊本市子ども文化会館にて開催された。



当日は、4階ステージにて「よい歯のピエロショー」が午前、午後2回公演され子供たちも大喜びであった。3階では食生活改善推進委員の方々による噛みごたえある食品の展示、アドバイスなど行っていた。又、幼児、学童向けのコンピュータの設備や体験工作コーナーは常設しており子供に人気があるようだ。



2階では、公衆衛生委員が無料歯科相談、フッ素塗布(希望者)、口臭検知器による口臭の数値をもとに診断し相談に対応した。また、位相差顕微鏡を用いた口腔清掃の指導、口腔清掃グッズ展示、及び各保健福祉センターの歯科衛生士が、

ブラッシング指導を行った。相談者、フッ素塗布希望者も多く、たいへん盛況であった。来館者は、「よい歯のピエロショー」485名、歯科相談およびフッ素塗布319名であった。



昨年は、「母と子の良い歯のコンクール」の表彰を当イベントで行ったが、翌日の「歯の祭典」での表彰に変更された。



昨年に続き2回目のイベントであるが、幼児、学童対象の無料フッ素塗布希望者の増加がうかがえ、市民の歯に対する健康の意識も高まりつつあるように感じた。

(公衆衛生 原田教二)

平成14年度熊本市社保点数改正説明会開催



4月26日（金）午後7時30分より熊本県歯科医師会館3階ホールにおいて、平成14年度熊本市社保点数改正説明会が開催されました。会場が超満員となる中、河野哲朗委員長の司会進行により関剛一会長の挨拶の後、木村洋県社保担当理事と稲葉逸郎市社保担当理事による点数改正の解説及び会員からの質問に対する解答がなされました。



木村理事からは点数改正後の若干の解釈の変更点を中心に説明が行われました。



か初診について

- ①患者説明用資料の追加について
- ②「治療のお知らせ」は3回目までに渡す。
- ③「～の疑い」病名では算定不可。確定病名が必要。
- ④ダツリのみで来院の場合、実日数が1日となっても算定要件を満たしていれば算定可。
- ⑤自家診療の場合の算定はあまり好ましくない。
- ⑥保険証に他院によるか初診記載がある場合は、患者さん本人に尋ねて最終通院日を確認し2ヶ月以上経過していれば算定可。



充填について

- ①同一歯面に複数の窩洞が存在する場合には1窩洞として取り扱う。(MOとOであれば複雑1窩洞となる。MOとODの場合は2窩洞となる)

訪問診療について

- ①今回の改正により治療が受けられなくなり困っている患者さんが数多く生じ、不満に思われている先生方もたくさんおられるが、解釈の変更点はまだない。
- ②常時寝たきりの状態又はこれに準ずる状態であるかどうかは、直接接している先生ご自身で判断して頂くか、社会保険事務局に問い合わせさせて頂くしかない。

歯周疾患継続治療診断料について

- ①届出制(社会保険事務局長に届出)である。



- ②初診日から3ヶ月以上経過し、歯周治療を含めた一連の歯科治療(全ての治療)が終了し、最終の歯周組織検査から1ヶ月以上経過した患者さんが対象となる。

歯周疾患継続総合診療料について

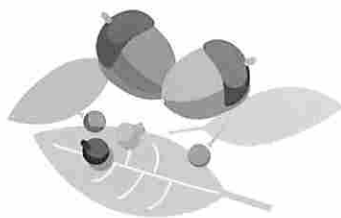
- ①1～3ヶ月間隔で当該総合診療を実施するが、3ヶ月以上未来院の場合は、継続治療計画に基づくメンテナンスは中断(中止)となる。

稲葉市社保担当理事からは今回の各改定点(新設項目、要件の明確化、包括化、評価・見直し)についての確認の説明が行われました。

今回のマイナス改正は内容的にも非常に厳しいものとなりましたが、か初診に関しては算定しやすくなっており、ぜひ皆が算定しつつ受診率アップと質の向上につなげていきましょう。

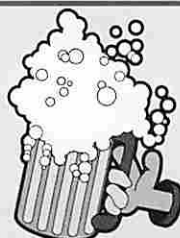


(社保 金本良久)





夏だ！ビールだ！ 元気に乾杯！



— 第26回熊本市歯科医師会親睦会 —



6月22日(土)午後6時半より、交通センターホテルで、熊本市歯科医師会会員の親睦ビアパーティーが開催された。

市の会員親睦会として、バレーボール大会、ボウリング大会に引き続き行われるようになったビアパーティーも、今年で5回目となった。当日は天気も良く、絶好のビアパーティー日和で約90名の出席があった。

関会長は、「夏だ！ビールだ！元気に乾杯！大いに盛り上がりましょう」と開会の挨拶をされた。

引き続き熊本県歯科医師会から来賓としてお招きした吉田公典専務理事に、歯科界の現状などについてお話ししていただいた。

ジャズバンドの演奏と共に、斉藤健先生の乾杯で開演するや生ビールの杯がグイグイ重ねられた。今年も彩りを添えた浴衣のコンパニオンと、ふんだんにサーバーから振るまわれる生ビールに、会場は大いに盛り上がった。恒例のビンゴ

ゲームでは、ホテルの利用券や、冷酒祭りの利用券が賞品として用意され、当たった人には良いおみやげとなった。

さらに盛り上がった所で、奈良健一先生のカラオケ熱唱となりボルテージはピークに達した。

恒例の菅原副会長の締めは、少しひねりが効いており、酔いを冷ますのに十分効果を発揮した。

と言う事で、今年も無事ビアパーティーが終了した。

日ごろ顔を合わせる事が少ない会員同士が、ビールの杯を酌み交わし、情報交換や近況を伝え合うのは、やはり必要なことだ。

今年はいくつかの大学の同窓会日程と重なった事もあり、出席者がいくぶん少なめだった。気軽に楽しめる懇親会なので、来年はより多くの会員に参加していただけたらと思う。

(厚生 御任弘玄)

ビールも強くなりました



あんまりにらまんで下さい



わあ、どるは喰おうか？



チヨット、チヨット話はしよう



もう腹一杯



おい、おい、えらい残つとるぞ



両手に花、ニンマリ



あつ、おじやま虫が…



お口の健康を維持するために

－歯みがき巡回指導レポート－

学校歯科委員会では、県歯科衛生士会の衛生士の協力を得て、毎年小学校に「歯みがき巡回指導」というものを行っています。これは2年前までは(株)ライオンが行っていましたが、企業の事業内容再編に伴い撤退したものを、当方で引き続き行おうということになり、ボランティアで行っています。

毎年30校程の小学校で、各学級単位にブラッシング指導を行うものです。むし菌のできる理由を勉強し、どうしたらむし菌が防げるかの動機付けを行い、実際に生徒1人1人の歯を染色液で染めて歯みがきの指導を行っています。子供達の反応はとても良く、楽しみながらも一生懸命に話を聞いて、ブラッシングの実習に励んでくれます。また昨年からは、特殊学級の生徒さんにも指導対象を拡げましたが、こちらも親御さんが参加してくれるなど反応は上々です。特殊学級の子供達は、一度むし菌や歯周病になってしまうと比較的治療が困難な為、予防がより一

層重要であると考えています。

各小学校とも好意的に受け入れてくれており、貴重な1時限の授業時間を提供してもらっています。巡回指導後に御礼の手紙や、子供達1人1人の感想文を送って来てくれる学校も多く見られます。

私達の歯科界も経営環境は益々厳しいものがありますが、このような活動を通して、小さい頃から歯科に興味と親しみを持ってもらうことで、将来的には少しでも早期受診や受診率のアップにもつながっていくのではないだろうかと考えています。

各委員も診療の合間に時間を作り頑張っていますが、久しぶりの小学校で、子供達の楽しそうな顔を見ていると「やって良かった」と思える活動です。

できれば対象となる学級数も、もっと増やせばいいなあと思っております。

(学校歯科 前田明浩)

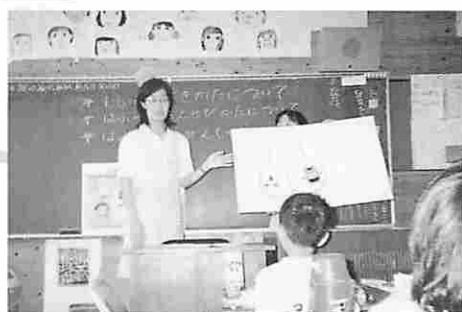
	6月6日(木)		12日(水)		13日(木)	19日(水)	20日(木)	26日(水)	
小学校名	桜木東	五福	白川	向山	本荘	春日	壺川	慶徳	花園
時間目	3	5	2	5	3	3	3	3	5
時間	10:40 11:25	14:00 14:45	9:45 10:30	14:05 14:50	10:55 11:40	10:50 11:35	10:40 11:25	10:40 11:25	14:00 14:45
クラス数	2	1	2	2	1	1	2	1	1
人数	65	36	42	73	17	37	54	17	32
第75条学級人数			3年生と一緒に 1			○ 7		○ 4	
学校歯科医師	森尾謙二郎	永田 博久	一瀬 英輔	岡田 知久	富田 久之	鈴木 梓 弘中 一郎 井手 裕二	三笠 司 山口 一彦	上田 隆一 弘中 一郎 岩井 泰介	稲葉 逸郎 沢木 孝明
委員	井手 裕二	前田 明浩	吉崎 久次	津野田 稔	岩井 泰介	梅田なおみ	西村佳寿子	増田 真理	増田 真理
歯科衛生士 出 務 者	豆塚奈穂子 太村加与子 村上佳津江 山角 知美 他3名	豆塚奈穂子 太村加与子 他2名	大村加与子 梅田なおみ 西村佳寿子 村上佳津江 他4名	大村加与子 梅田なおみ 天野 富子 村上佳津江 他2名	梅田なおみ 豆塚奈穂子 他1名	向江 恭子 西村佳寿子 前淵 隆子 山口八重子 高柳 徳子	西村佳寿子 豆塚奈穂子 西田 千穂 前淵 隆子 向江 恭子 他2名	増田 真理 西田 千穂 他4名	増田 真理 西田 千穂 他2名

平成14年度小学校歯みがき巡回指導実施状況

ある日のドキュメント



はりきっていきましょう



お疲れさまでした



学校保健功労者表彰

— 第23回熊本市学校保健会総会 —



6月27日(木)午後1時より、熊本市産業文化会館に於いて学校保健会総会並びに学校保健合同研修会が開催されました。

総会において熊本市歯科医師会関会長より、現在行っている歯磨き巡回指導がより充実した健康教育活動へと発展できるよう、熊本市学校保健会事業の行事として組み入れてほしいとの意見が出されました。

次に勤続15年の学校保健功労者の表彰が行われ、井尾治雄先生(城南中、日吉中)、尾上宏先生(鮑田東小、鮑田南小)、澤木孝明先生(若葉小)、徳永俊英先生(健軍小)の4名の先生が表彰されました。

合同研修会では、熊本大学教育学部教授川崎順一郎氏により「子供の体力を取り戻そう」という演題で、全国的に子供の体力低下が報告されており、又学校での体育の評価は低いのが現状であるが、今後児童生徒の健康な体とたくまし

い精神力を育成するために、知・徳・体の大切さを学ぶ総合的学習が必要となるでしょうとの講演がありました。



(学校歯科 津野田稔)

プロ意識をもち患者さんとの信頼関係を保つために

ースタッフレベルアップセミナーー

5月25日(土)に熊本県歯科衛生士学院5階実習室にて、午後2時30分より3時間にわたり、スタッフレベルアップセミナーが行われました。

関剛一熊本市歯科医師会会長の挨拶の後、株式会社ジーシー所属の3名の歯科衛生士を講師として患者対応セミナー(1時間)材料セミナー(1時間)PTCとブラッシングセミナー(1時間)の順で講演が行われました。



内容としましては、患者対応セミナーでは、『歯科医院が患者さんから選ばれる時代』という事をふまえて患者さんの気持ちになって考え行動する事。また、歯科衛生士としてのプロ意識をもち、患者さんを理解し、態度で示して患者さんとの信頼関係を保つようにする。というものでした。

材料セミナーでは、確実な器材の取り扱いが



患者さんの信頼を得る礎になります。今回は2人1組となりお互いに適切な印象材の練り方で実際に口腔内を印象するという実習が行われました。

PTCとブラッシングセミナーでは、歯科医院でのPTC(Professional Tooth Cleaning)について、またブラッシング指導として染め出し液を使用しない「えんぴつ実習」によるブラッシング方法が紹介されました。

その後、受講者全員に受講証が渡されセミナーは終了しました。

これからも、このようなセミナーを継続し各歯科医院のスタッフのレベルアップを図る事が必要だと思われるので、次回からの参加よろしく御願います。

(医療管理 村上辰郎)

〔えんぴつ実習〕 ブラッシングの正しい力加減を『Bのえんぴつ』を使って体得

〈手順〉

- ①歯面をぬらします。
- ②Bのえんぴつで歯面に印を書きます。
- ③2~3往復で汚れを歯ブラシで落とします。
 - ・正しい力加減(50~100g)だと、2~3往復で落ちます。
 - ・力が強すぎたり、歯面に毛先が当たってないと汚れを落とすことはできません。
 - ・「歯ブラシの向き」「当て方」「力加減」など自分自身の工夫が必要です。
- ④えんぴつの汚れが落とせたら、赤染めしたブラークも同じように落とせます。

〈えんぴつ実習のメリット〉

赤染めしたブラークは1度落としてしまうと見る事ができません。

・えんぴつは何度でもできる・手軽にできる・短時間でできる

(注意)えんぴつを口腔内に使用しても害はないとのことですので安心してお使い下さい。

①中央に「点」



②中央に「縦線」



③中央に「横線」



④歯頸部に沿って「線」



やりましょう! 新しいおつきあい

第43回日本歯科医療管理学会総会 学術大会



第43回日本歯科医療管理学会総会・学術大会が7月13日(土)から14日(日)博多山笠で賑わう福岡県歯科医師会館にて開催されました。

「やりましょう!新しいおつきあいー歯科界からの発信ー」をメインテーマに第1日目一般口演、ポスター展示、2日目にポスター発表、特別講演、教育講演、シンポジウムがありました。内容としてはPOS.IT情報化、EBM等の患者中心型医療において、よりよい歯科医療の提供とそれによる患者の満足度についてが多かったようです。

一般口演は23演題、ポスター展示・発表は35題の多彩な内容でしたが、歯科医療と地域の動向の関係やトラブルや医療事故に関するもの、感染予防対策が多くありました。かかりつけ歯科機能、パソコン会計ソフトや途上国における歯科医療など最近の話題のものも目につきました。また、熊本からも阿蘇郡歯科医師会、伊東歯科の発表があり、更に添島義和先生と伊東隆利先生が座長をされ、頼もしく思えました。印象に残った3つほど列挙します。

①住民の歯科診療代に関する意識調査

ー補綴物について一尾崎哲則他(日大歯学部)
補綴物の特に自費のものを低目の価格と思っている。

②歯の本数と自覚的健康度及びQOLとの関係に関する研究

ー田上大輔他(阿蘇郡歯科医師会)
高齢者で残存歯数が多いと自覚的な健康状態、なんでもおいしく食べられる、外での活動や社会活動の楽しみや生きがいを持ちQOLの高

い結果が示された。

③初診患者の意識と広告との関係について

ー永山正人他(北海道歯科医療管理研究会)
口コミ61.7%、電話帳7.7%、その他広告4.1%と電話帳広告効果は低く、来院した患者を満足させることが大切と示唆された。

特別講演-1では「法律と制度面からみた歯科医師・患者関係」という演題で宮武光吉先生(鶴見大学歯学部客員教授)の講演がありました。

近年、歯科医師と患者関係について、さまざまな報道や意見が出されている。これは、国民の権利意識の高揚と、医療・歯科医療に対する要求の多様化などがその理由とされている。同時に医療側の態度や認識の変化の乏しさも、このような風潮に拍車をかけているとも考えられる。現在の歯科医師・患者関係を考えるときに、次のような点に留意することが必要である。

- 1) 国民皆保険制度下にあつては、歯科医師と患者の関係が間接的なものになってきたこと。
 - 2) 保健医療に関して、有効性ととも安全性が求められるようになってきたこと。
 - 3) 患者は、歯科医師に対してその知識・技能とともに、より広い社会性を求めていること。
- などの内容でした。

特別講演-2では、「選ばれる歯科医療を目指して」という演題で寺岡加代先生(東京医科歯科大学医歯学総合研究科医療経済学教室講師)の講演がありました。

厚生白書(平成7年度)にも明記されているが、医療はれっきとした「サービス業」であります。ただし他のサービス業との大きな違いは「医師と患者の間には情報の非対称制が存在し、対等な関係にはなり得ない」ことである。医療もサービス業として「接遇」に力を入れるだけでは不十分であることは当然であり患者が求めるのは「医療本体の質の向上」である。今や医療界は「第三の医療革命・評価と説明責任の時代」に入ったといわれている。

教育講演では、1)「歯科診療のIT化」という演題で、梶田克巨先生(日本歯科医療管理学会常任理事)の講演があり、歯科医療情報のIT化の大きな目的は歯科医療情報の共有化を目指し、カルテの電子化、用語の標準化、歯式の標準化、診療の標準化など基本的な事項の検討および研究成果を公表しなければならないというものでした。2)「歯科医療を取り巻く情報化の流れ」という演題で森本徳明先生(日本歯科医療管理学会情報処理委員会委員)の講演で、歯科診療の正当性や必要性、そして診療報酬の増額を訴えていくには、診療内容の細やかな記録とその分析によって、evidenceとoutcomeとを歯科界が具体的に示していく必要があり、これを怠ると今後はますます医療費配分の不均等を引き起こすと考えられるというものでした。3)「歯科医療のモデリング」という演題で、井部孝也先生(日本歯科医療管理学会情報処理委員会委員)の講演がありました。

最後に、伊東隆利先生(日本歯科医療管理学会理事)を司会として

シンポジウム1「小泉医療改革と医療機能評価—患者にとって満足できる医療の構築に向けて」と題して廣田耕三先生(日本病院会理事)

シンポジウム2「患者の不満はどこからきて、どこへ行くのか」と題して辻本好子先生(弁護士、ささえあい医療人権センターCOML代表)

シンポジウム3「よりよい歯科医療提供のための臨床現場での試み」という題で中野充先生(北九州開業・九州歯科大学非常勤講師)

以上3つの基調講演があり、「やりましょう!新しいおつきあい」という大会テーマでシンポジウムが行われました。

廣田先生は自分の思いに反することは多いが事実を述べるとされ、今後の医療制度改革で競争と選別の時が来る。それに勝ち抜くには第3者の評価に耐えうるEBMの構築が本命となる。①小泉医療改革は健康保険料の増税と社保本人3割負担、診療報酬のマイナス改定で総額抑制し、国民皆保険の維持と医療保険財政の両立を目指す。一方、赤字経営の病・医院も続出する。②特定医療費の拡大(混合診療の導入)で民間医療保険が普及し、より高度・満足の医療は民間保険で行われる。③競争原理の導入として保険者の病院との個別契約、営利法人の医療参入は予断を許さない。④21世紀はIT社会で病院選択



はホームページが主役となる。インフォームドチョイス、口こみ評価よりEBM評価、医療機能評価は歯科にも及び選択のキーとなる。

辻本氏は患者と医療側の乖離現象を患者の苦情を交え説明された。

- 1 パターナリズム医療から語り合いの医療(インフォームドコンセント)へ。権利、コスト意識の向上、世代によりニーズの違いがでてきている。
- 2 いま、医療に望むこと—「安全で、安心と納得のできる医療」「確かな医療技術」「患者の個性の尊重」「情報開示」「コミュニケーション」
- 3 出会いたい医療人(医療機関)
 - 利用者の「知る権利」を尊重してくれる○わかり易い説明に努力されている○プライバシーが守られている○「ノー」「ちょっと待って」も遠慮なく言える○セカンドオピニオンは患者の当然の権利
- 4 「賢い患者になりましょう」
 - 病気の持ち主であるという自覚○医療者に思いを伝える・1人で悩まない○一緒に歩む
- 5 ともに築く「信頼」と「協働」の医療

中野先生は自らPOSを導入し、治療例を示しながら話された。患者さんのあらゆる問題をひろい上げ、解決し、全人的医療を目指すものである。どの医療スタッフがみても治療に必要な情報がわかり統一したものとする。

基礎データの収集、問題リストの作成、経過記録、サマリー、監査、修正の流れで1患者1カルテを原則とする。大変な労力も必要だが患者とスタッフの会話が増え、治療の中断がなくなり、リコール率も高くなったとされた。

その後、熱心にディスカッションされましたが、自己研鑽に努めながら、一方的でなく、より互いを理解し、よりよい医療を目指す必要を感じた興味ある有意義な学会でした。

(医療管理 村上辰郎・藤波好文)

平成14年度 『三歯会』定例会および懇親会開催

6月27日（木）午後7時30分より県歯会館にて熊本市歯科技工士会、熊本県歯科衛生士会熊本市支部の役員を招いて三歯会が行われました。

技工士会より4名、衛生士会より8名の出席をいただき、歯科医師会からは藤波理事以下医療管理委員会のメンバーに加えて公衆衛生委員会から1名、広報委員会、学校歯科委員会より各2名参加して総勢24名で活発な議論がかわされました。医療管理委員会尾上委員長の開会の挨拶に続き、今年3月に亡くなられた本田志保子歯科衛生士のご冥福を祈り黙祷を捧げました。座談会に入りまず、歯科医師会より藤波理事が、受診率向上についてさまざまな検討、努力をしているがこの先社会保険本人3割負担が導入される予定等でまだ厳しさが増してきた主旨の挨拶がなされました。



続いて技工士会より上村会長、衛生士会より植熊本市支部長からそれぞれの現状をふまえた挨拶があった後、昨年に続き「受診率アップ」について各会より様々な意見が出されました。

まず歯科医師会より、昨年の会議で提案された積極的に地域社会にかかわりを持つということに対しての自分の取り組み、また医院をあげての取り組みについて体験をもとに話がされました。また、歯周病の恐さや歯周病は治るということを新聞等の広告を使って啓蒙し、我々歯科医も常に研鑽できるシステムを作るべきではないかという様な意見が出されました。



次に技工士会の方から、患者さんからどの歯科医院がいいか、上手かと聞かれることが多いので各歯科医院の専門分野や得意分野を知ることができないか、地域の交流で面識があれば紹介しやすいので地域に密着した活動をしてほしいなどの意見が出されました。また、歯科医師会の様に会員の技工所のマップ作成とインプラント上部構造や金属床等得意分野の表示を考えているという話がありました。続いて衛生士会の方からは、歯磨き巡回指導の時の校医とのタイアップは非常に有意義であった、コミュニケーションのとれる衛生士を育てることが大切、子ども文化会館のイベントを準備中であるとの話がありました。その後各会の方数名、それらの提案、意見に対しての意見や感想、体験談などが出されました。熊本市歯科医師会発行の「かわら版」等を利用して技工士会、衛生士会の研修会を勤務している各会の会員に知らせてはどうかという意見も出ました。



歯科医師会・技工士会・衛生士会のより以上の一体化が、近年厳しくなる歯科界の諸問題に対峙していくのに必要不可欠だと感じました。約1時間の会議の後、場所を懇親会場に移し、古賀専務理事、蔵田常務理事も参加され和気あいの懇親会が行われました。

（医療管理 永松聖隆）

国立熊本病院との協議会

7月12日県歯会館2階第一会議室において開放型病院を推進している国立熊本病院の宮崎久義病院長、木村圭志副病院長、高橋毅救急医療センター医長、児玉圀昭歯科口腔外科医長の各先生方に来館いただき、協議会を開催いたしました。本会からは、関会長、菅原副会長、古賀専務、藤波理事、尾上医療管理委員長が出席いたしました。

まず宮崎病院長より日頃本会の開放型への協力に対するお礼と新国立熊本病院の進み具合等の、そして関会長からは登録医などこれからも開放型への参加を勧めていく旨の挨拶の後、古賀専務の司会で協議を行いました。

1. 開放型病院連絡会について

8月29日(木)に開催予定の連絡会は、鶴屋デパートの新館10階にあるバレアホールにおいて6時30分より開催され、本会から1名パネリストを出して欲しい旨の依頼がありました。選出を予定。総会後の懇親会は7階の鶴屋ホールに移り、医科からの参加者や医科職員との交流会となります。大変有意義ですので多数の参加を御願います。

2. 国立熊本病院地域支援病院について

紹介率が現在65%でありそれを75%まで持つて行きたいとの事。そして2年後には80%を目指す計画です。紹介状が無い場合¥3150の特別療養費がかかるそうです。

3. 病院歯科外来共同指導の展望について

現在患者数は伸びておらず、会員への案内をお願いされた。本会からは治療日等の情報をより詳しく紹介医に流して頂くように提案。

4. 救急医療について

- ・国立熊本病院救急医療センターにおける歯科の利用状況
- ・厚生労働省通達「歯科医師の救急医療処置と医科での研修」



本年度の歯科関係の利用は無く、過去の事例を紹介。又救急医療については歯科に起因する処置は可能であるが、救急救命士への直接の指示は出来ない。

5. 救急蘇生講習会について[11月14日(木)]

従来どおりの蘇生法の講演ならびに実習と去年評判が良かった静脈路の確保もして頂く事になった。

6. 国立熊本病院における歯科健診について

6月から人間ドックの基本健診の1つとして行っている。約10件の実績。歯科質問表の説明があった。

7. 障害者の歯科治療について

国立熊本病院では現段階では対応していないが、出来るように目指したいとの事。また富合町の子育て支援センターや唇口蓋裂の患者の治療とリハビリに実績のある機能病院が紹介された。

8. その他

紹介患者の実態や病診連携の実状を演題とした児玉医長の講演を計画してみたいかが等の意見が出された。登録医は本会会員にとってメリットの多い制度だと思います。登録やそれに伴う費用など無料ですし、随時申し込み[国立熊本病院庶務課 096-353-6501]が出来ますので、いざという時の為に、加入をお勧めいたします。

(医療管理 尾上宏)

矯正におけるカウンセリングの重要性

山本 資晴

近年、インフォームドコンセントの重要性がいわれ、また一般歯科において歯科矯正治療を行う事も増えてきている様ですがその際の治療予測と患者側への説明によって思わぬ誤解を受けたり、その後の治療の継続が難航することも多々考えられます。そこで比較的よく手がけることが多いと思われる成長期の反対咬合を例にとり、初診から診断、カウンセリング、治療そしてその後の観察について筆者の診療をもとに考察したいと思います。

初 診

一般歯科治療の一環として矯正治療に導入する場合と患者が初めから矯正の相談及び治療を目的に来院した場合が考えられます。要するに患者側が歯列不正を気にしていない場合と気にしている場合と考えても良いでしょう。気にしていない場合その歯列不正によって引き起こされる弊害を軸に説明しなければなりません。補綴前矯正の場合も同様です。一方、患者が気にしている場合は、主訴を明確にすることが当然の事ながら一番大事な事です。中には主訴として術者に伝えた事の裏に真の主訴と言えるものが隠されていることもあります。これは多くの場合審美的な問題であることが多いようです。術者は注意深く話をしながらそれを把握しなければなりません。この聞き出した主訴と術者が初診で診た状態との比較が必要で患者側と術者側の考えのギャップはここで埋めておかなければならないと考えています。

診 査

診査に必要なものとして従来通り、セファログラム、パノラマ、デンタル、TMJの各レントゲンがあるのが望ましいでしょう。少なくとも上下顎の印象模型とバイトは必要です。状況が許せば各種、顎機能検査装置を使用するのも良いでしょう。

う。これ以外にも患者の既往歴(特に耳鼻科領域の疾患)触診、口腔周囲筋の状態の観察は重要です。各診療室で診査に使うものは様々であるので、分析法等に関しては説明を控えさせていただきます。

診 断

反対咬合の場合、それが歯牙性のものか骨格性のものか、また反対咬合に付随して叢生や開咬があるかないかが重要となります。そうするとセファログラムはやはり欲しいところです。最低限デンタルやパノラマを使用して歯牙の数、歯根の状態は知っておく必要があると思います。

カウンセリング

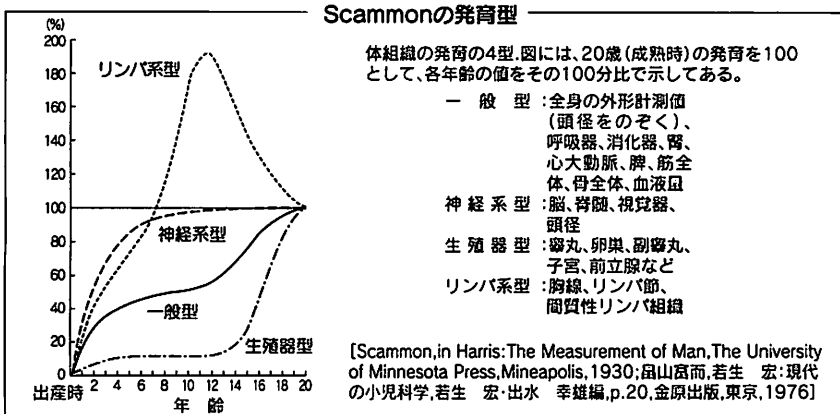
診断をもとにして、患者の現在の状態や可能な範囲での将来の予測を説明し患者が希望する状態にできるかどうかもある程度は明言しなければなりません。(もちろん可及的に)

反対咬合の場合初診時、または診査後のカウンセリング時に一般的な上下顎の成長パターンを説明する必要があります。ほとんどの患者さんは上顎と下顎の成長時期の差、差動成長(ディファレンシャルグロース)について知識は無く、差動成長自体が反対咬合の治療の障害になりうることを理解させるべきです。

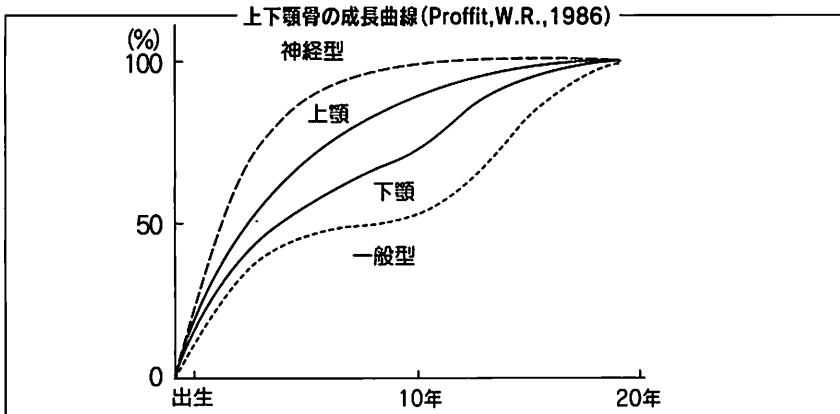
◎差動成長について

HarrisとScammonの成長曲線 (Fig1) であまりにも有名な成長の原則。成長は各臓器、時期でその速度や量が異なりその型は大きく4つのタイプに分けられる。またProffitはその中で神経型と一般型の中間に上顎の成長と下顎の成長が位置すると分類した。(Fig2) この二つを患者に分かり易く説明するために筆者が使っているものがFig3である。

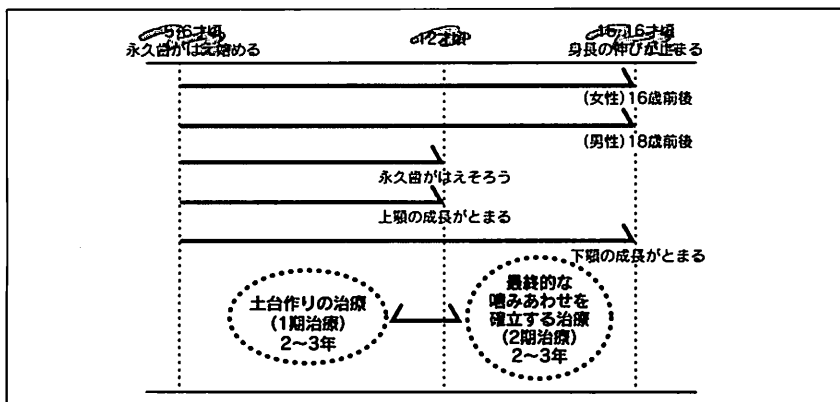
(Fig1)



(Fig2)



(Fig3)



Study

◎成長予測の困難さ

三つの症例において10歳～15歳の変化を現したものである。図1は著しい下顎成長をしめたものの、図2は標準的と思われる成長を示した物である。また図3は、著しい成長が予想されたが咬合が変化しなかったものである。一見してその差を早期に判別するのは難しいのではないだろうか。



(図1)



(図2)



(図3)



治療

早期の反対咬合(例えば小学校低学年)は一時的に被蓋を改善するのは比較的容易です。しかし骨格性の要因を持った反対咬合の場合改善していた咬合関係とともに再度反対咬合になりやすくもあります。初診時、または診査後もカウンセリング時にこの点に言及していないと患者側とトラブルにならないとも限りません。患者側からすると成長したから反対になったのではなく、治療が失敗したからまた歯がもどったと受け取りやすいのです。後から正しく説明しても理解されにくいようです。(納得しにくいと言った方がよいでしょうか)

観察およびアフターケア

被蓋改善を行って一応治療が終了しても成長が残っているうちは数ヶ月おきにでも成長、咬合の観察を行うべきであり、その後の2次的な治療を行うか、または手に余る場合専門医に紹介するかを見極めなくてはなりません。例え矯正の専門医であろうとも顎骨の成長量を正確に予測することは現在の処困難です。

結び

初診時に相手の主訴がどこにあるかを明らかにしておくことは非常に重要です。特に患者に審美的な欲求がある場合慎重に聞き出す必要があります。美しさの基準は個々に違うものであり、一律に判断できません。よって治療導入時に矯正治療を行うことによって綺麗になるとやたらに言うべきではないでしょう。(これは治療ができないとか、歯並びが整わないということではありません)

早期治療を行う場合例え被蓋が改善したとしても将来的にわたって『治った』(変化しない)と伝えるべきではありません。

近頃いかに自分の考えを伝えまた患者の訴えを聞き取ることが重要かと感じるようになりました。ラポールを獲得するためにも大事なことと思います。以上は筆者個人の見解であることをお断りしておきます。べからず集のようになってしまいましたが日頃筆者自身が自分に言い聞かせている事であり、これが先生方の日々の診療の一助となれば幸いです。

《音盤散策》

サイモン&ガーファンクル ライブ

「Live From New York City, 1967」

(legacy/columbia/SONY)

最近の音楽と称するものはどうもなあとお嘆きのあなた、お宝CDがこっそりでてます。「ボス」がE.ストリートバンドと18年ぶりにスタジオ録音した9.11への答、「Rising」を買うためタワレコに行った時、近くにさりげなくおいてあったのがこれ。「なんじゃこりゃ」(©松田ジローン刑事優作)と手にとったとたん瞬時に70年代に戻ってしまいました。なんと宝石のようなハーモニーが輝いていた67年絶調のS&Gライブです。

静かなる佳作「ブックエンド」発売直前、リンカンセンターでの2人のステージ。サウンドオブサイレンスを聞きながらキャサリンロスとD.ホフマンは、あれ以来欠かさずチェックしたよなあ。I'm A Rockはやっぱりアートに対する恋唄なんだろうかなどと、時間をさかのぼる。ちぎれてしまったはずの青春の尻尾がうずきます。聴くべし。それにしても「水曜の朝、午前3時」がラストなのは意味深。



学校歯科医 レポート



すこやかサミット



すこやかサミット発表風景

熊本市立城東小学校では、すこやかサミットという活動を通じて健康を追求する総合的な学習の時間を設けている。長年つづくこの活動は毎年度テーマを設定し、3年生以上の全児童が参加する児童を主体とした発表の場である。

本年は昨年度のテーマ「生活習慣病」を更に深める内容で、「口は健康の入口」というテーマに取り組んだ。サミット当日は、アドバイザーとして、保健婦、医師、保護者が児童をサポートするが、5年生の発表に本会学校歯科医師中川順一先生が参加された。



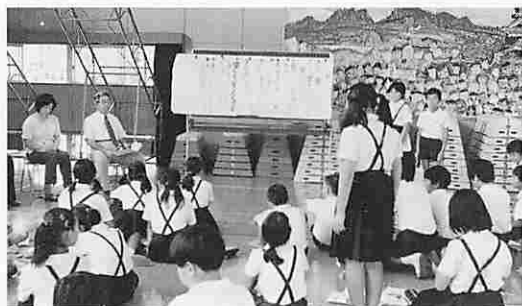
中川順一先生

私は熊本市立城東小学校の校医を拝命しまして20年ほど経ちます。

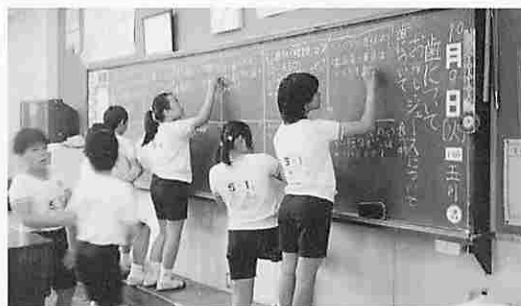
他校の事はよく判りませんが、城東小学校は口腔衛生に関して昔から関心の強い学校です。と言いますのも城東小学校の校医には栃原義人という偉大なる大先輩がいらっしゃいました。

その頃から続いている口腔衛生観念は世代を越えて脈々と受け継がれています。

昨秋、他校の先生方を招いて行われた「すこやかサミット」という学校行事の中で子供達が「歯」に関して発表をしました。その発表の内容はとてもレベルが高く、そして題材にしる資料にしる私はほとんど助言を与えることもなく学校の先生と子供達が自力で作ったもので、とても素晴らしいものでした。子供達が発表した内容の一部を会報に載せてもらいました。先生方の中で何かの参考になることが有ればと思います。

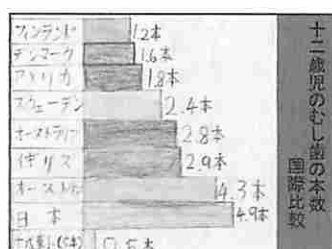
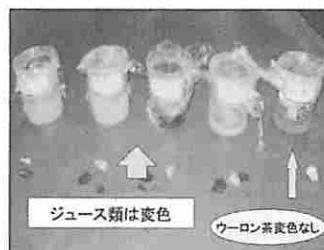
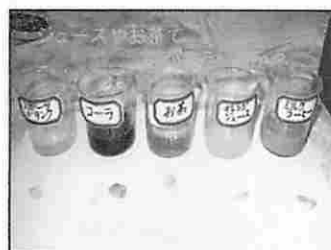


中川先生とディスカッション



全員で発表しました

児童一人一人の力作群



視覚的で子供たちが理解しやすい実験が行われた

新人です!よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 ムラタ ナオユキ 村田 尚之
 診療所名
 (診療所) 熊本市飛田3-11-10
 電話/096-346-3366
 (自 宅) 熊本市飛田1-3-16
 電話/096-343-9560
 生 年 月 日 昭和39年 8 月18日
 趣 味 夏はウェークボード・冬はスノーボード
 最近テニスをはじめました・キャンプ
 好きな言葉 気合
 尊敬する人 鳥取先生
 経 歴 西南学院高等学校卒業
 平成 2 年 福岡歯科大学卒業
 鳥取歯科 4 年間勤務
 平成 6 年 開業

おすすめの冊

「ハイペリオン」上・下
 「ハイペリオンの没落」上・下
 「エンディミオン」上・下
 「エンディミオンの覚醒」上・下

ハヤカワ文庫SF

SFと聞いて鼻で笑う人も、スターウォーズ以来あまりいなくなりましたが、今回はコアなSFマニアから初心者まで、絶対満足できる作品を紹介したい。(コアなファンならもう読んでるか)1冊といいながら4部作、しかも各上下あわせて8冊となってしまうが。本好きの性で、感動した本はできるだけ秘密にして、ベストセラーになろうものならフンと鼻にもかけない。そんなあなたもとにかくこのシリーズはお勧めです。読むべし。

中身は読んでくださいとしかいえない素材のごった煮。スペースオペラ、タイムワープ、サイバースペース、ナノマシンなど等、殆どのSFテーマは網羅されてます(お客さん逃げないで)。ちょっとSFかじってる人に

は嬉しくなるような本歌取りがあちこちにちりばめられて、しかも美しい。読み終わるのが惜しい。めったにありませんがこれはほんとうにそう。先を読みたいのに終わりがたくないジレンマ。

ハードカバーは95年にでましたが、S.キングほどではないにしても4冊となると1万円は超える、枕にはならず、重くて手は疲れるということで、ようやく文庫化されこれなら手軽に買えます(といっても8冊で7千円か)。読書の秋、ですが、読み出したら睡眠時間が減ります。くれぐれも仕事に障らないようご注意。

BGM: モーツァルトピアノ協奏曲、ラフマニノフ前奏曲嬰八短調、そしてもう1曲、オールドアースの名曲を用意して



スポーツの広場



空港デンタル会 (ダブルペリア方式)

平成14年7月21日 15名

	O	I	G	H	N
優勝 松本光示	37	38	75	2.4	72.6
2位 大嶋健一	45	44	89	14.4	74.6
3位 川崎俊明	43	39	82	7.2	74.8
4位 三笥司	44	43	87	12.0	75.0
5位 元島博信	43	46	89	13.2	75.8
B.B 本田 亘	45	48	93	13.2	79.8

熊本デンタル (ハンデは熊本デンタルハンデ)

平成14年5月26日 (空港カントリー) 12名

	O	I	G	H	N
優勝 本田 亘	43	43	86	14	72
2位 松本光示	37	40	77	5	72
3位 稲葉逸郎	42	39	81	6	75
4位 渡辺 洋	43	49	92	16	76
5位 川崎俊明	42	42	84	6	78
B.B 小田和人	46	50	96	12	84

トーナメントゴルフ会

平成14年4月7日 14名

	O	I	G	H	N
優勝 宮崎幸一	43	41	84	11	73
2位 山室紀雄	43	43	86	12	74
3位 河野敬明	47	42	89	15	74
4位 井口泰治	51	41	92	14	78
5位 奈良健一	44	46	90	11	79
B.B 本田治夫	53	52	105	17	88

平成14年7月28日 (湯の谷ゴルフクラブ) 9名

	O	I	G	H	N
優勝 大嶋健一	40	40	80	10	70
2位 川崎俊明	39	38	77	6	71
3位 中根俊吾	42	42	84	12	72
4位 松本光示	39	39	78	5	73
5位 中島義和	39	39	78	4	74
B.B 松本真典	44	43	87	10	77

※大嶋健一先生が8月付けで空港カントリーシングルフレーヤーとなりました。

平成14年5月26日 15名

	O	I	G	H	N
優勝 北川隆之	38	38	76	8	68
2位 古賀 明	40	43	83	10	73
3位 山室紀雄	43	43	86	12	74
4位 合沢康生	40	50	90	13	77
5位 木村 洋	46	49	95	18	77
B.B 谷川貞男	44	53	97	10	87

平成14年6月23日 14名

	O	I	G	H	N
優勝 内田 隆	40	40	80	11	69
2位 井口泰治	42	41	83	14	69
3位 宮崎幸一	39	43	82	11	71
4位 河合隆一	43	39	82	11	71
5位 大森秀則	46	49	95	21	74
B.B 本田治夫	49	53	102	17	85

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
5月20日	165回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
6月18日	166回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)
7月19日	167回理事会(会務・庶務・委員会報告・協議)

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
5月16日	スタッフ研修セミナーについて 上通りイベントについて シテイFMについて 広告について・三歯会について 労務研修会について
7月25日	日本医療管理学会参加について 労務研修会について 久留先生講演会について 国立熊本病院との連携について セルフチェック表について・後方支援病院について 医療管理学会について・院内機能評価表について

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
5月17日	医療苦情事例の頻度と内容について 有病者歯科医療研究会 「保険診療の理解のために」の検討
6月21日	保険診療及び診療報酬の請求について
7月25日	カルテ記載例の検討

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
5月14日	中岳117号編集
5月23日	中岳117編集(本田DH追悼ページ) 6/9 2002歯の祭典出務者(船津委員)
6月11日	かわら版6月号編集
6月21日	中岳117号第1回校正
7月25日	中岳117号第2回校正 かわら版 8月号編集

厚生委員会

月 日	協 議 題
5月16日	ビアパーティー打ち合わせ 6/9 衛生週間竹下先生出席 10/30 シティFM出演
6月14日	ビアパーティー打ち合わせ 標題決定「夏だビールだ 元気に乾杯」
7月16日	ビアパーティー・健康診断について 入院入所者アンケートについて

学校歯科委員会

月 日	協 議 題
5月23日	歯みがき巡回指導の日程について 三歯会への出務ついて 熊本市学校保健会について
6月26日	歯みがき巡回指導の反省
7月18日	熊本県学校保健研究協議大会の出務計画 熊本市学校歯科医のつどいの計画

公衆衛生委員会

月 日	協 議 題
5月24日	よい歯のピエロショー 上通りイベント
6月20日	子ども文化会館・上通りイベント反省会
7月24日	歯の衛生週間反省・フッ素塗布スケジュール 健康フェスティバル確認

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
5月23日	熊本市歯科医師会ホームページの件
6月20日	ホームページ更新について
7月29日	ホームページ更新作業

受診促進臨時委員会

月 日	協 議 題
6月13日	第3回委員会 経営について 患者の多い医院と少ない医院について

編集後記

私事ですが、我が家の息子3人（大学生、高校生、中学生、各1名）も体だけは大きく成長し、私も含めて身長と足のサイズがほぼ同じになりました。体重は各々違って、50キロ台（三男）、60キロ台（次男）、70キロ台（私）、80キロ台（長男）ですが、都合がよいのは、靴や服が使い回しが利くことです。派手な色のハワイアンシャツや若者向きのスニーカーなんぞ「ちょっと親父に貸せ！」といって使ってます。もうすぐ50歳ですが、気分だけは「ちょっと若め」でいこうと思ってます。

さて、今年度に入って、経済的な指標でかなり厳しい状況が続いています。今までも厳しかったのですが、4月改定でダメ押しをされたようです。現状打開の決定打はないかもしれませんが、職員を信頼して（教育して）力を発揮してもらうこと、患者さんとの信頼関係を強める努力をすることが大事ななと思っています。めげたら終わりです。みんなで知恵を絞って頑張らしましょうね。

（T・H）

熊本市歯科医師会会誌

第 118 号

発行日 平成14年9月15日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 関 剛 一

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本2丁目1-30

TEL096-356-6433 FAX096-311-1388